

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2025-2026
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2520
GOVERNOR: TAKEHIKO KATOH

CONTENTS

ガバナーメッセージ	02
特別月間テーマに寄せて	03
青少年交換プログラムに参加して 1	05
青少年交換プログラムに参加して 2	06
第4分区地域シンポジウム・IM	07
インターアクト年次大会	08
新入会員紹介	09
退会者報告・訃報	10
クラブ会員数報告・編集後記	11

9

2025
月信
VOL.03



ガバナーメッセージ



親愛なるロータリアンの皆さまへ

国際ロータリー第2520地区 2025-2026年度ガバナー

加藤 雄彦 Takehiko KATOH

そろそろ暑さから解放されたい季節がやってきました。皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る7月26日(土)、遠野市のホテルあえりあ遠野にて、第4分区の千葉純子ガバナー補佐および寺崎勉ガバナー補佐のリーダーシップの下、遠野ロータリークラブの奥寺修会長はじめ会員の皆さまのご尽力により、同分区初となる「地域フォーラム」が開催されました。

テーマは、「『救世済民』という知見を未来志向で安全かつ健康的な地域社会へ!!」

本年7月31日、生誕150年を迎えた民俗学者・柳田國男先生が1920年(大正9年)、地域文化の研究のため第4分区内を巡回された史実にちなむものです。

当時の日本は、第1次世界大戦後の戦後恐慌、関東大震災、金融恐慌などの困難な時代にありました。加えて、都市と地方の格差が拡大し、地域社会はさまざまな課題に直面していました。柳田先生が見つめていたのは、そうした地域の人々の暮らしと知恵、そして文化を未来へつなげることの重要性だったのではないのでしょうか。

地域フォーラムに先立って開催された第4分区インターシティミーティングでは、少子高齢化が進む今だからこそ、老若男女が助け合い、地域経済と生活を支える“昔ながらの生き方”にこそヒントがあると、参加者それぞれが再認識されたことと思います。

さて、国際ロータリーでは9月を「基本的教育と識字率向上月間」と定めています。江戸時代から脈々と

受け継がれてきた寺子屋文化や私塾に見られるように、地域に根差した民間教育は、日本の文化的基盤を支えてきました。特に国語力は、私たちの思考力や表現力を育む大切な力です。しかしSNSが発達した現代では、文法や漢字、適切な表現に対する意識が希薄になりつつあるのではないかと危惧しています。

同時に、9月は「ロータリーの友月間」でもあります。『ロータリーの友』誌は、国際ロータリーの承認を受け、Rotary Global Media Networkの一員として発行されている公式機関誌であり、ロータリーライフを豊かにするための大切な情報源です。2014年からは電子版も発行され、2022年からは「印刷版」と「電子版」の選択購読が可能になりました。電子版をご希望の場合は、クラブ事務局を通じてお申し込みください。不明点があればガバナー事務所までお問い合わせをいただければ幸いです。

最後に、今月の月信の花「コスモス」に触れたいと思います。秋風にそよぐ可憐な姿には、「調和」「謙虚」「愛情」という花言葉が込められています。これは、私たちロータリアンの奉仕の在り方そのものではないのでしょうか。異なる価値観の中に調和を見出し、常に謙虚に学び、すべての人に対して愛情と敬意をもって接する——コスモスは、その静かな佇まいで、私たちが進むべき道を優しく語りかけてくれているようです。

どうぞ、皆さまのクラブに、そして地域に、コスモスのような穏やかで温かな風が吹きますように。



「基本的教育と識字率向上月間」にむけて

梶 浦 正 (仙台レインボー RC) Tadashi Kajiuira

9月のロータリー月間は「基本的教育と識字率向上」ですが、市内の専門学校で30年以上勤務している私が近年の「教育」について思うことをお話したいと思います。

18~20歳の学生に対して建築関係の講義を行っていますが、年々講義を聞くことに集中できない若い人が増えてきているように思われます。居眠りとかではなく、特に気になるのはスマートフォンを講義中にいじっている学生が多く見られることです。このことは電車やバスなどの中で多くの人たちがスマートフォンを見ている状況にもよく似ています。ゲームや情報を取得する為には非常に便利なものですが、使い方によっては多くの問題ををはらんでいるのも事実です。50年頃前にはすでに家庭用ゲーム機が広まり子供たちの遊び方に危惧する親たちも多くいたと思いますが、大人たちも年々グレードアップしていくゲームソフトや

ハードウェアの魅力に取り込まれていくようになりました。優れた機械を発明し利用することは大事なことですが、その利用方法を適切に伝えることはそれ以上に重要なことです。

ところで「教育」という言葉は「教える」とことと「育む(はぐくむ)」ことの両方で成り立っている言葉ですが、「教える」とことについては機械を利用する方が合理的かもしれませんが、「はぐくむ」ことは機械にはできません。私たち大人が子供たちにすべきことは「情報」を多く伝えることだけではなく、その時代における社会で社会の人たちと共に如何に生きるべきかを伝えることではないでしょうか。そのためには他人に対しての思いやりや精神的な強さをもてるように子供たちを丁寧に「はぐくむ」必要があります。今は家庭でも学校でもなかなか時間が取れないように思いますが、「教育」が未来を担う子供たちにとって最重要事項で

あることを考えれば、「教える」ことだけの偏った「教育」にならないように子供たちを「はぐくむ」ための時間が今だからこそ必要なのでしょう。現代社会では仮想空間の創造に多くの価値を見出していますが、私たちは決して「バーチャル」な世界では生きていけないのですから。



ウクライナ第27学校インターアクト部の書道教室(仙台育英学園)

特別月間テーマに寄せて



「ロータリーの友月間」に寄せて

ロータリーの友地区代表委員

三浦 泰弘 (仙台RC) Yasuhiro Miura

「ロータリーの友」地区代表委員は、3月から新年度に向けて活動が始まります。前任の千田 弥生さん(水沢RC)とご一緒にオリエンテーションに参加し、委員としての活動内容や友への要望などのディスカッションを行いました。新年度7月には加藤ガバナーとご一緒に合同会議に出席した後、毎月提出するレポートの出し方について説明を受けました。友の今後の編集に役立てるため、掲載記事についての意見や感想を編集部に届けるためのものです。

正直に申しますと、委員になるまでは熱心な読者とは言い難く、特集やSPEECH以外は流し読みでしたが、心を入れ替えすみから隅まで目を通してみて驚きました。さすが70年以上の歴史を持つ雑誌で、読者であるロータリアンの立場・役割に応じた情報がふんだんに含まれており、良く考えられて構成されていると感心しました。

また、ロータリーの機関誌としての情報だけではなく、前述のSPEECHや諸先輩方のこの人を訪ねて、各クラブの国際奉仕・地域奉仕の記事などは、読者

の心が動く記事となって活きています。

この原稿書いているのは7月ですが、7月号のヤングケアラーの記事は、介護で自分の時間を取られてだんだん孤立してゆく子供達の問題がテーマでした。自分たちの地域で自分たちも何かできることがある！と心が動く記事でした。個人的には、このような情報発信こそが友の存在意義だと感じます。

2520地区では、長年継続して子供たちを支援する活動や、地域の奉仕活動・国際奉仕を続けている素晴らしいクラブがたくさんあります。みなさまのそのような地域の活動を「ロータリーの友」に掲載し、全国の読者に届けられれば私の委員としての使命は達成かなと考えております。

私は今年度のガバナー月信の編集者も兼ねておりますので、どうぞ皆様の奉仕活動をまずは月信に投稿をお願いいたします。その中からロータリーの友編集者を連れてクラブに取材に行けるようにがんばります。

1年間どうぞよろしく願い申し上げます。

「ロータリー誌、ロータリーの友の豆知識」

ロータリー誌は1911年1月に発行された「The National Rotarian」が最初で、クラブのニュースや新しい加盟クラブの発表、ポールP.ハリスによるエッセイなどが掲載されまていた。その後、雑誌名を「The Rotarian」と変え、さらに世界中でロータリークラブが結成されるようになり、各地域独自の視点を反映した地域雑誌が発行されました。この地域雑誌の日本版が「ロータリーの友」でして初刊は1953年です。

本家の「The Rotarian」は現在では発行部数が50万部を超える雑誌ですが、地域雑誌は130国以上、20以上の言語で発行されており、世界のロータリアンの半数以上が「The Rotarian」の代わりに地域雑誌を購読しているそうです。

青少年交換プログラムに参加して 1

青少年交換プログラムに参加して

2024-25年青少年交換(長期) 崔裕真さん

ロータリーの青少年交換プログラムでのアメリカ、ミネソタ州への留学を通して、自分自身の成長を感じるとともに、世界の見え方、視点が大きく変化したように感じる。今までは、すべての物事を日本に住んでいる自分という眼鏡をかけてみていたのが、留学に行ったことで、その眼鏡を払拭し、身近な問題から世界の社会問題まで広い視点で見れるようになったと身をもって実感する。留学に行く前はふわっと、今の自分を変えられたらいいな、英語が上達すればいいなという思いだったのですが、実際に行ってからは人生観ごとに変化した。その点、4つのホストファミリーを経験できたのも、この青少年交換プログラムの素晴らしいところだと思う。異なる家族と一緒に暮らすというだけで世界の見え方が変わる経験だが、4つも経験したことで成長が促進されたうえ、いろんな関係性を作ることができた。



自分自身の成長という面では多くの経験をした。実際に、日本に帰ってきてから友達にアメリカでとってきた写真を見せると、「人生経験をしてきたね」と言われた。まさにその通りで本当に、このまま日本で生きてい



ては、経験できるわけがないことをたくさん経験した。具体的には、ミネソタ州の寒い気候を活かした、アイスフィッシング、アイスポートなどに加え、アメリカ最大級のステイトフェアやホストファミリーに連れてってもらったグランドキャニオンなどあげていけばきりが無い。

アメリカに留学に行く前には様々な不安があった。私は飛行機に一人で乗る直前までアメリカに長期留学に行く実感がなかった。飛行機に乗ってからは、いきなり孤独感に襲われ、これから誰も知り合いがいないところに一年間住みにいくのかと不安で気持ちがいっぱいだった。しかしながら、アメリカについてからはすべてをサポートしてくれる、最高のホストファミリーと私に様々な経験をさせてくれたロータリアンの方々などに支えられ、最高の一年間を送ることができた。そこではホストファミリーやロータリアンの方々に何かに誘われたら喜んで受ける、なんでも挑戦する姿勢が大切だと学んだ。これは私にとって大変うれしいことであり、オファーをしてくださった側も積極的に取り組む姿勢はうれしいものだ。実際に私の最後のホストファミリーは私の積極的に物事に取り組む姿勢を買って、ホストファミリーに立候補してくれたという。明確な形で私の態度が私の留学を変えたといっても過言じゃないだろう。

最後に、私の留学をサポートしてくださった方々にお礼を言いたい。日本、アメリカのロータリーの方々、ホストファミリー、学校の先生、友達、そして両親。多くの方々のサポートがあって高校生という自立してない自分の一年間の留学が成り立ったと思う。人生でひと時も忘れることのない、そして私の人生を大きく変えたであろう経験をさせてくれた皆さんに感謝を述べたい。

青少年交換プログラムに参加して 2

青少年交換プログラムに参加して

2024-25年度 YE長期派遣生 佐藤音々さん

2024年8月20日から、2025年5月27日まで、アメリカにあるアーカンソー州、サイロムスプリングスという地域に派遣させていただきました。佐藤音々です。

まず、私がロータリー青少年交換プログラムを選んだ理由は、世界中の人々と交流し、彼らと世界をつなぐ架け橋になりたいと思ったからです。日本を出てたくさんの国の方々と関わり、交流し文化を教え合い、日本文化だけでなく他の国の文化も学びたいと思ったので、ロータリー青少年交換プログラムを選ばせていただきました。そして、私がこの10ヶ月間の中で印象深かった事を3つお話しします。

1つ目は、学校生活です。私はサイロムスプリングス高校という所に高校3年生として10ヶ月間通いました。その際はバレーボール部に入部していました。さすがアメリカの高校だなと思ったのは多くの人種の方がいたのと、毎回のイベントの規模の大きさです。私の学校では40%をスペイン圏の方が占めていて、英語と同時に簡単なスペイン語も学ぶことができました。アメリカならではのホームカミングやプロムなど多くのイベントにも参加しました。文化デーという日もあってそれぞれの国の文化衣装を着たり、食べ物を作ったりしていました。私自身も着物を着て学校に行きました。学校で出来た友達は、私にとってかけがえのない大切な存在になりました。

2つ目は、ホストファミリーです。計2つのホストファミリーに受け入れて貰いました。本当の家族のように扱っていただき、寿司を作ったり、日本語を少し教えたりして、日本文化に共に触れました。1つ目のホストファザーが日本語で私を娘と呼んでくれていたのがとても嬉しかったです。2つ目のホストマザーとは良くジムに行ったり、ベビーシッターを共にしたりして、本当のお母さんの様な存在でした。他国に他に家族がいる事は本当に特別で、この経験からしか得られない宝物だと思います。

3つ目は、留学生との関わりです。これはこのプログラムを選んで良かったと思う一番の理由です。このプログラムでは、他の国から来たロータリーの留学生と関わるすることができます。アメリカだけでなく、色々な国籍の方々と友達になる事はとても素晴らしい経験になりました。お互いの文化を国によって伝え合い、触れ合う事は私がロータリーを選んだ理由でした。私は計100人以上の交換留学生と会い、たくさんの文化について学ぶことが出来ました。彼らはいつまでも私の親友です。

これらの経験は、私にとって人生を大きく変え、間違いなく人生で一番濃い10ヶ月間となりました。日本に戻ってきた現在はアメリカで学んだことを多くの人に伝え、世界と世界を繋げる手伝いをしていきたいです。



第4分区地域シンポジウム・IM

【柳田国男生誕150年記念シンポジウム開催】

遠野RC 幹事 木村 正子

日本民俗学の父・柳田国男の生誕150年を記念するシンポジウムが、7月26日、遠野市にて開催されました。遠野ロータリークラブが主管、宮古ロータリークラブが準主管を務め、第4分区では初めての形式となる本格的な公開フォーラム(参加者150人)であり、地区補助金(DG)も活用された意欲的な取り組みです。

「遠野物語から古里再発見へ」をテーマに、柳田の民俗学とその思想が持つ現代的意義について、研究者や

教育関係者が熱く語り合いました。とりわけ柳田が提唱した「経世済民」——すなわち、民の暮らしを豊かで持続可能な安定感を創造し、社会全体を調和ある方向に導くという理念——は、ロータリーの「超我の奉仕」の精神と深く響き合うものです。

本シンポジウムは、地域文化との連携を通じてロータリーの公共イメージを高める好機ともなり、奉仕の新たなかたちを地域社会に示す機会となりました。



【第4分区IM(インターシティ・ミーティング)の開催】

遠野RC 会長 奥 寺 修

去る7月26日に当分区としては従来よりも早い時期ですがIMを実施しました。

今回の開催は、ホストクラブ所在地の遠野市を会場に、高名な民俗学者による基調講演で「遠野物語の著者である柳田国男が目指した民俗学(朝日新聞コラム「豆手帳から」を読む)」を行い、改めて遠野地域の郷土文化を見直し、さらには新たな地域社会の創造について学ぶ機会としました。

更に、遠野地域で地区遺産や芸能等の研究をする方々によるパネルディスカッションも実施しました。

実施の感想として、第4分区内から参加頂いたロータリアン41名の方々にはそれぞれが活動する地域と共通する部分も多く、地域社会創造に関し意識を新たにする機会となってくれたものと思います。ただ一般公開したシンポジウムと同一日実施だったため、残念ながらIMのもう一点の目的である親睦の促進は、かなり脆弱になってしまったと反省もしております。



「国際ロータリー第2520地区60周年記念インターアクト年次大会」

2025-2026年度ガバナー 加藤 雄彦

60周年記念インターアクト年次大会
常盤木学園と第27学校ウクライナ第27学校のインターアクターのみなさん

親愛なるロータリアンの皆さまへ ロータリー広報活動のご報告

去る7月19日(土)、仙台育英学園宮城野校舎において「国際ロータリー第2520地区60周年記念インターアクト年次大会」を無事に開催することができました。開催にあたり、各クラブの会長・幹事の皆さまをはじめ、青少年奉仕委員会の皆さまのご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

当日は、地区内31のインターアクトクラブのうち21クラブが参加し、青少年同士の友情と奉仕の精神

を育む有意義な大会となりました。

また、本大会に先立ち、7月17日(木)には登米市東和町にある仙台育英学園東和蛸雪校舎「インターアクト桜の庭」(※国際ロータリー第2650地区が記念植樹を行ったエリア)において、ウクライナ第2232地区チェルカスイ・ロータリークラブがスポンサーを務める第27学校インターアクトクラブの女子生徒6名が、ソメイヨシノの苗木を植樹いたしました。

この植樹は、仙台東ロータリークラブ様ならびに多賀城ロータリークラブ様、そして本年8月に創設される予定の多賀城1300ロータリー衛星クラブ様のご立会いのもと、マスコミ(河北新報社様、東日本放送様、他)の取材を受けながら執り行われ、ロータリーの国際的な青少年交流と平和への願いを広く社会に発信する機会となりました。

このような広報活動の実践例として、今後のクラブ活動のご参考にさせていただければ幸いです。



マスコミ4社の取材を受けた植樹風景

新入会員紹介

新入会員紹介

<p>花巻北 RC</p>  <p>みやざわ たく 宮澤 岳 2025.7.1 入会 建設コンサルタント業</p>	<p>花巻北 RC</p>  <p>なかむら けいこ 中村 圭子 2025.7.1 入会 精密機器製造</p>	<p>花巻北 RC</p>  <p>かさまつ しげき 笠松 繁樹 2025.7.1 入会 ホテル旅館業</p>	<p>水沢 RC</p>  <p>いしかわ りょうこ 石川 良子 2025.7.1 入会 飲食業</p>	<p>奥州水沢東 RC</p>  <p>さいとう あきら 齊藤 晶 2025.7.1 入会 商業銀行</p>	<p>奥州水沢東 RC</p>  <p>ひらかわ なおこ 平川 奈生子 2025.7.1 入会 美容サロン</p>
<p>釜石 RC</p>  <p>かとう じゅんすけ 加藤 潤喜 2025.7.1 入会 生命保険</p>	<p>釜石 RC</p>  <p>かんの あきひろ 菅野 昭博 2025.7.1 入会 電力事業</p>	<p>宮古 RC</p>  <p>やまもと のりひろ 山本 倫大 2025.7.1 入会 警備業</p>	<p>宮古 RC</p>  <p>おがさわら りいち 小笠原 理一 2025.7.1 入会 水産加工業</p>	<p>宮古 RC</p>  <p>くぼ たかし 久保田 聖 2025.7.1 入会 板金業</p>	<p>仙台冠 RC</p>  <p>かい た まこと 貝田 真 2025.7.1 入会 サービス企画・運営</p>
<p>久慈 RC</p>  <p>ささき まさゆき 佐々木 正幸 2025.7.3 入会 一般送配電</p>	<p>大船渡西 RC</p>  <p>ちば みつてる 千葉 満輝 2025.7.3 入会 スーパーマーケット</p>	<p>盛岡 RC</p>  <p>よしえ のぶひろ 吉江 信博 2025.7.4 入会 団体</p>	<p>盛岡 RC</p>  <p>きくち すずむ 菊池 奨 2025.7.4 入会 住宅建築</p>	<p>仙台西 RC</p>  <p>こんの ひろし 今野 浩 2025.7.4 入会 解体工事業</p>	<p>仙台レインボー RC</p>  <p>あくつ ふみき 阿久津 風樹 2025.7.4 入会 映像・Web 制作</p>
<p>石巻南 RC</p>  <p>さくらたに げんいち 櫻谷 賢一 2025.7.9 入会 神道</p>	<p>大河原 RC</p>  <p>たむら ひさし 田村 久 2025.7.10 入会 生命保険</p>	<p>盛岡 RC</p>  <p>もり あきら 森 亮 2025.7.11 入会 生命保険</p>	<p>宮古 RC</p>  <p>おいかわ げん 及川 元 2025.7.11 入会 ビルメンテナンス</p>	<p>宮古 RC</p>  <p>なかむら こうたろう 中村 光太郎 2025.7.11 入会 建設業</p>	<p>仙台南 RC</p>  <p>たかはし ゆうき 高萩 友希 2025.7.17 入会 総合証券業</p>
<p>奥州水沢東 RC</p>  <p>すみよし けいし 住吉 啓史 2025.8.5 入会 清涼飲料水販売</p>	<p>奥州水沢東 RC</p>  <p>とみかわ きよみ 富川 公恵 2025.8.5 入会 生命保険</p>	<p>白石 RC</p>  <p>シュン ハイエン 熊 海燕 2025.7.1 入会 雑貨小売</p>	<p>仙台 RC</p>  <p>こむろ かつみ 小室 勝己 2025.7.1 入会 ビルメンテナンス業</p>	<p>仙台 RC</p>  <p>むらかみ ともひろ 村上 智洋 2025.7.18 入会 旅行斡旋</p>	<p>仙台 RC</p>  <p>ちば たかし 千葉 隆史 2025.7.8 入会 電気工事</p>

新入会員紹介・退会者報告

新入会員紹介

 <p>仙台 RC ま く ち の り ふ み 菊地 憲史 2025.7.15 入会 都市銀行</p>	 <p>仙台 RC ま り い た か ゆ き 桐井 隆行 2025.7.15 入会 証券業</p>	 <p>仙台 RC な が た た け ひ さ 永田 武久 2025.7.15 入会 建設業</p>	 <p>仙台 RC に し や ま よ し か ず 西山 喜和 2025.7.15 入会 損害保険</p>	 <p>仙台 RC さ い と う た か し 斎藤 貴 2025.7.15 入会 郵便</p>	 <p>仙台 RC ほ し た だ と し 星 忠利 2025.7.29 入会 生命保険</p>
 <p>仙台 RC こ ば り ひ ろ ゆ き 小針 宏之 2025.7.29 入会 生命保険</p>	 <p>仙台 RC ま す だ あ き ひ ろ 増田 暁浩 2025.7.29 入会 電気器具販売</p>	 <p>仙台 RC お お た ひ ろ ゆ き 大田 啓之 2025.7.29 入会 航空運輸</p>			

退会者報告

クラブ名	氏 名	職業分類	退会日
盛岡南 RC	水越 昌雄	自動車販売	2025.7.3
宮 古 RC	松原 安子	タクシー業	2025.7.11
築 館 RC	伊藤 真大	住宅建築	2025.7.12
仙台西 RC	伊藤 孝峰	住宅供給	2025.7.31
仙台北 RC	松井 佑介	印刷業	2025.8.6

訃 報

<p>謹んでご冥福を お祈り申し上げます。</p>	<p>前沢 RC  鈴木 秀悦 2025年7月12日ご逝去 (享年82歳) 2004年4月1日入会</p>	<p>仙台南 RC  小野寺 慶志 2025年8月6日ご逝去 (享年75歳) 2007年7月1日入会</p>
-------------------------------	---	--

クラブ会員数報告

2025年7月末時点

分 区	No.	クラブ名	会員数(内女性)
第1分 区	久慈・二戸	1 久 慈	24 (1)
		2 二 戸	43 (4)
		3 種 市	17 (0)
	盛 岡	4 盛 岡	70 (2)
		5 盛岡北	34 (3)
		6 盛岡西	21 (2)
		7 盛岡南	46 (1)
		8 盛岡東	25 (2)
		9 盛岡中央	23 (4)
		10 盛岡西北	40 (5)
		11 盛岡滝ノ沢	4 (3)
分区分計			347 (27)

第2分 区	花巻・北上	12 花 巻	30 (2)
		13 花巻南	29 (1)
		14 花巻北	41 (3)
		15 北 上	37 (4)
		16 北上西	19 (4)
		17 北上和賀	21 (4)
		18 前 沢	9 (0)
	奥 州	19 水 沢	16 (1)
		20 奥州水沢東	35 (5)
	分区分計		

第3分 区	一関・平泉	21 花 泉	10 (2)
		22 平 泉	10 (0)
		23 一 関	13 (1)
		24 一関中央	14 (6)
	大船渡・高田・千厩・ 気仙沼	25 大船渡	28 (2)
		26 大船渡西	31 (5)
		27 陸前高田	17 (0)
		28 千 厩	22 (2)
		29 気仙沼	19 (0)
		30 気仙沼南	36 (1)
分区分計			200 (19)

第4分 区	遠野・釜石	31 釜 石	17 (1)
		32 釜石東	29 (3)
		33 大 槌	6 (0)
		34 遠 野	10 (2)
	山田・宮古	35 宮 古	30 (2)
		36 宮古東	20 (1)
		37 山 田	19 (1)
分区分計			131 (10)

第5分 区	三 陸	38 石巻東	41 (0)
		39 石巻西	31 (3)
		40 石巻南	20 (1)
	登米・栗原	41 栗 駒	13 (1)
		42 築 館	17 (2)
		43 佐 沼	57 (6)
		44 若 柳	25 (5)
分区分計			204 (18)

※ 地区行事予定や組織図などの最新情報は地区ホームページを参照ください

分 区	No.	クラブ名	会員数(内女性)
第6分 区	大 崎	45 古 川	41 (3)
		46 古川東	40 (0)
		47 岩出山	11 (1)
		48 加 美	19 (0)
	松 塩	49 大 和	5 (0)
		50 松 島	5 (0)
		51 塩 釜	27 (1)
		52 塩釜東	11 (1)
		53 多賀城	20 (0)
		54 利 府	7 (1)
		55 七ヶ浜	11 (0)
分区分計			197 (7)

第7分 区	仙台青葉	56 仙 台	122 (6)		
		57 仙台泉	54 (3)		
		58 仙台青葉	44 (0)		
		59 仙台冠	20 (4)		
		60 仙台レインボー	11 (3)		
	仙台広瀬	61 仙台南	46 (3)		
		仙台南一白石衛星	18 (8)		
		62 仙台北	60 (2)		
		63 仙台東	52 (0)		
		64 仙山西	38 (1)		
		65 仙台宮城野	29 (1)		
		66 仙台奥羽	24 (4)		
		分区分計			518 (35)

第8分 区	阿武隈	67 岩 沼	25 (2)		
		68 名 取	35 (3)		
		69 亘 理	11 (0)		
		70 角 田	14 (0)		
		71 丸 森	13 (0)		
		72 白 石	19 (2)		
	蔵 王	73 柴 田	17 (0)		
		74 村 田	13 (1)		
		75 大河原	31 (4)		
		分区分計			178 (12)

2520地区 会員数合計(内女性) 2,012 (152)

RAC (4)	1 宮古RAC	5 (2)
	2 古川東RAC	7 (2)
	3 仙台RAC	3 (0)
	4 仙台泉RAC	26 (8)
RAC合計		41 (12)

編集
後記

RI2520地区のロータリアンの皆様、月信7月号では地区組織図等の編集ミスがあり訂正、再送により大変ご迷惑をお掛けいたしましたこと、編集チーム一同深くお詫び申し上げます。

新ホームページの方は順調に立ち上がりましたので、毎月最新情報に更新されるようになりました。今後、組織図、クラブ一覧等の最新情報は地区ホームページ<https://rid2520.com/>をご覧くださいませ。

また、ガバナー月信の編集作業を余裕を持って正確に行うため、皆様のクラブからの報告書類は毎月15日までに事務局に届きましたものは翌月の月信に掲載できますが、16日以降に届きましたものは翌々月の月信掲載になる場合がございます。あらかじめご了承のほど、何卒よろしく願い申し上げます。

(月信、ホームページ、ロータリーの友担当幹事) 三浦 泰弘